

2021年5月20日

日本国土開発株式会社

東日本電信電話株式会社 宮城事業部

宮城県仙台市にオープン予定のワーケーション対応型キャンプ場施設への ICT 設備構築支援及び地域コンテンツを活用した誘客等に関する連携について

日本国土開発株式会社(代表取締役社長:朝倉 健夫、以下、日本国土開発)及び東日本電信電話株式会社 宮城事業部(取締役宮城事業部長:滝澤 正宏、以下、NTT 東日本)は、日本国土開発が宮城県仙台市泉区の泉ヶ岳に2022年春にグランドオープンを予定しているワーケーション対応型キャンプ場施設に関し、ICT を活用したキャンプ場設備の構築支援や、地域コンテンツを活用したツアープランの造成、データ活用による誘客等を通じた地域活性化について相互に連携し、推進いたします。

1. 連携の概要

日本国土開発が宮城県仙台市の泉ヶ岳の自社用地にて 2021 年 1 月から整備を進めているキャンプ場の新設にあたり、NTT 東日本がプロジェクトに参画し、連携・協力して施設整備を支援するものです。本施設は、昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大で注目されている、仕事(ワーク)をしながら余暇(バケーション)も楽しむ「ワーケーション」に対応します。リモートワークに欠かせない高品質なネットワーク回線をはじめ、仕事・余暇の両面において施設を安全かつ便利に利用できる ICT サービスを提供する予定です。

2. 連携の目的

仙台市内における大規模レジャー施設の整備にあたり、日本国土開発は当該施設をコロナ禍におけるニューノーマルの行動様式の中で、仙台市民の新たな憩いの場として、また県内をはじめ全国からも誘客し、高い顧客満足を提供する場としたいと考えていました。さらに、「SDGs」への取組の観点からは、地元間伐材を用いた木質バイオマス発電により「キャンプ場内の CO2 排出が全体としてゼロ*1」となることを目指しています。

NTT 東日本がこのプロジェクトに連携・協力することで、最新の ICT の導入を支援し、ワーケーションに対応した先進的で利便性の高い施設整備を実現します。また、NTT 東日本のグループアセットや協力関係にある地域企業とも連携することで、ビッグデータを活用した誘客や、泉ヶ岳地域のコンテンツを活用した、魅力的なツアープランの造成などを通し、利用客の呼び込みなど泉ヶ岳およびその周辺地域の活性化にも取り組んでまいります。

*1 二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量から、森林などによる吸収量を差し引いてゼロを達成することを意味します

3. 2 社の役割

[日本国土開発]

- ・当該キャンプ場における整備計画に関する情報の提供
- ・2社で協議した ICT 活用設備等の導入、運用
- ・当該敷地内における、ICT サービスの実証実験の機会と場所の提供

[NTT 東日本]

- ・当該キャンプ場の整備計画に基づき、ローカル5G や LPWA*2 等の先進的無線インフラの導入を見据えた最適な通信環境等の構築支援
- ・ ICT を活用した施設の利便性、顧客体験価値の向上に向けた設備構築支援
- ・ ICT を活用した誘客手法の企画、導入支援
- ・ 各設備、ICT サービス等の活用手法の企画、運用支援
- ・ 地域コンテンツを活用したツアープラン造成の企画支援
- ・ 上記各項目におけるグループ企業、協力企業等の紹介

*2Low Power Wide Area:小電力で長距離通信できる無線通信技術の総称

4. 当該施設の概要(2021年4月現在)

事業主: 日本国土開発株式会社

施設住所: 981-3225 宮城県仙台市泉区福岡岳山 7 番4外

総面積: 75,087.50 m²

施設規模: キャンプ場 25 区画、コテージ 4 棟、フリーサイト数約 92

収容人数: 500人(最大)

付属設備: 温浴施設(温泉)兼管理棟

プレオープン: 2021 年秋を予定

グランドオープン: 2022年春を予定

5. 連携の期間

グランドオープン後、約1年間としその後は運用に関して相互協力を予定

6. 現地のご取材等の対応について

現在、当該地では各種施設の工事が行われております。大型重機等の出入りもあり、報道機関様および工事関係者の安全確保の観点から、現地をご案内してのスチル・ムービー等によるご取材対応は難しい状況です。

今秋予定の施設の一部完成に伴うプレオープン時、及び工事が完了する来春予定のグランドオープン時に、現地をご案内する報道機関様向け見学会を予定しておりますので、時期が迫りましたら、改めてお知らせさせていただきます。

7. 本件に関するお問い合わせ

[キャンプ場における ICT 活用に関すること]

NTT 東日本 宮城支店 第二ビジネスイノベーション部

0120-913-355 (担当:原田)

[キャンプ場整備自体に関すること]

日本国土開発 経営企画部

03-5410-5720

<参考資料(イメージ)>



当該施設がある「泉ケ岳」は、宮城県仙台市泉区にある標高1,175メートルの山麓で、豊富な湧き水が、周辺の池や川を育んできたことからその名称が付いたと言われています。泉ケ岳は、春や夏は日帰り登山やピクニック、秋には紅葉を

楽しむことができ、冬は南東斜面にある「泉ケ岳スキー場」、北東斜面にある「スプリングバレー泉高原スキー場」が整備されており、仙台市民のレジャースポットとなっています。

日本国土開発が整備中の施設は、県道泉ケ岳公園線と泉ケ岳の北西から南東に流れる清川の間位置し、仙台市街から車で40分の場所に位置しています。自然あふれるこの地に、環境に配慮したキャンプ場・温浴施設・コテージを整備し、ワーケーションを可能にする施設となります。

◆施設内の様子



小川や林間を散策してリフレッシュでき、自然の中にあるコテージでワーケーションが実現できる



コテージや温泉施設エリアからは、太平洋からの日の出や仙台市街地が一望でき、夜景も楽しめる

日本国土開発泉ケ岳 PJ 公式Instagramβ版(ユーザー名:hygge_izumigatake)では、順次情報を発信しています。

以上